

しんゆう

親友と暮らそう

おや・とも



利用者の声
医師（市内医療機関勤務）



奨学金利用で 学業に専念できました

医師を志したきっかけは、祖父の最期を看取ったことです。弱っていく祖父に声をかけることしかできず、自分の無力さを感じました。祖父のように衰弱したり、苦しんだりする人の力になりたいと思い、医学部に進学しました。大学では、参考書の購入や模試の受験など、多くの費用が必要になります。でも、四国中央市の奨学金制度を利用したことで、学業に専念することができました。

今、生まれ育った故郷で患者さまとたわいのない地元トークに花を咲かせながら、健康な生活を守るお手伝いができていることに喜びを感じています。的確な診断、治療ができるように更なる研鑽を積み、地域の皆さまに安心を与えられる医師になりたいと思います。

本市の医療を支える医学生を応援

医学生（奨学生）募集

市内の指定医療機関で貸付期間と同じ期間勤務すると
奨学金の返還は免除されます

■ 貸付金額

修学資金
奨学金

月額 **20** 万円

入学資金
奨学金

最大 **50** 万円

■ 対象

- ・本市の指定医療機関に医師として勤務する意思のある医学生
- ・入学生または在學生で、本人または保護者が市内の方

■ 申込期限 **6/28（金）**

■ 問い合わせ先 医療対策課 28-6157

市ホームページは、
こちら▶



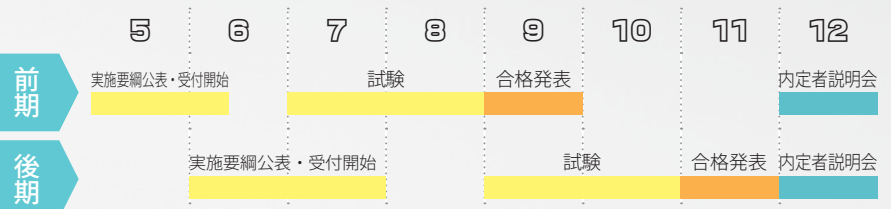
令和6年度 四国中央市 職員採用試験

詳細は、広報5月号で発表予定です。
皆さまのご応募をお待ちしています。



市ホームページは、こちら▶

採用スケジュール（予定）



※日程は、変更される場合があります。詳しくは、実施要綱をご覧ください

問い合わせ先 人事課 28-6004

先日まで県の被災地支援連携チームの一員として、石川県輪島市の避難所運営に携わりました。今だ厳しい状況が続く避難所には、互いに支え合い、日々を明るく過ごす人たちの姿がありました。住民同士で話し合い、互いに過ごしやすい環境づくりをする姿を見て、地域のつながりや、日頃のコミュニケーションの重要性を再確認しました。大好きな故郷が災害に強く、誰もが安心して暮らせるまちになるように、被災地での貴重な経験を活かしたいと思います。

経験をまちづくりに活かしたい

地区の人たちと一緒に旅行に行ったり、地域のイベントに参加したり…。私の思い出にはいつも温かな故郷がありました。私を支えてくれていた故郷を、自分も支えたいと思い、大学に進学するときから、卒業後は地元に戻ると決めていました。
現在私は、地域医療を支える業務を担当しています。難しい業務ですが、やりがいのある仕事に毎日充実しています。

私にとって特別な場所 故郷

Interview



医療対策課
星川 和葉 Hoshikawa Kazuha
2000年生まれ、川之江町出身。
大学卒業後、2023年に入庁。

